

# 防災重視の地域に

県立大公開講座

市民ら450人 支援活動振り返る

西日本豪雨災害を振り返った岡山県立大の公開講座



岡山県立大(総社市

窪木)は5日、発生から5年となる西日本豪雨の経験と教訓を後世に伝えようと、公開講座を開いた。学生や市民ら約450人が受講し、ボランティアによる、ボランティアによる当時の支援活動を振り返るとともに、災害に備えた地域づくりの重要性について考えた。

揮を執った佐野裕二・域づくりに関して『防災市社会福祉協議会常務理事(64)』同市清音軽部Ⅱが講演。多くの中高生らがボランティアとして集まったことが心でできる地域をつくる

センターの迅速な立ち上げにつながったとして、同大現代福祉学科2年夷柁勇さん(21)は「被災者への物資配布や被災した小学生らの学習支援などでも大きな役割を果たした」と説明した。

その上で、今後の地

な役割を果たした」と説明した。

い」と話した。

(寺尾彰啓)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。